

## サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く「2012 年夏のボーナスと家計の実態調査」

**平均手取額は調査開始以来最低 61.1 万円(昨夏比-6.5 万円減)****ボーナス使い道トップは「預貯金」(72.8%)! 消費低迷傾向に!****主婦の“へそくり”平均額は過去最高 384.3 万円(昨夏比+47.7 万円増)**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(代表取締役社長:山本 学)は、全国の 20～50 代のサラリーマン世帯の主婦 500 名(各年代毎 125 名)を対象に、「2012 年夏のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2012 年 6 月 8 日(金)～13 日(水)に実施しました。

今回の調査では、ボーナス平均手取額が 61.1 万円と昨夏よりも 6.5 万円減少し、調査開始以来最低の結果となりました。ボーナスの今後の見通しに関しては、全体の約 3 割の主婦が「減る+なくなると思う」と回答しており、また家計の現状に関しても約 6 割の主婦が「苦しい」と回答していることから、主婦の家計に対する悲観ムードが明らかになっています。また、「ボーナスの使い道」に関して聞いたところ、「預貯金などの貯蓄」「生活費の補填」「ローンの支払い」などが例年通り上位を占めました。その割合は例年以上に増加しており、その一方で、「旅行」「車・家電製品などの購入」「プチ贅沢」といった消費関連の使い道が軒並み減少していることから、消費低迷の傾向が浮き彫りとなっています。

夫に内緒の資産(へそくり)は、所持平均額が昨夏より 47.7 万円増の 384.3 万円と過去最高の結果となりました。このことから、主婦の「貯める」意識の高さが見て取れます。

第 24 回損保ジャパン DIY 生命アンケート「2012 年夏のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は、以下となります。

**《「2012 年夏のボーナスと家計の実態調査」の主な結果》****<2012 年夏のボーナス>**

- 夏のボーナス「増えた」は 24.4%、「減った」は 24.0%。平均手取額は 61.1 万円(昨夏比-6.5 万円)  
＜昨夏＞「増えた」:33.7%、「減った」:25.9%、平均手取額 67.6 万円。
- ボーナスの使い道トップは「預貯金」(72.8%)。30 代は 83.2%と、特に預貯金志向が顕著。  
一方、「旅行」「車の購入」「家電製品の購入」「プチ贅沢」などは減少傾向で、“消費の低迷”が明らかに。
- ボーナスの中から夫に小遣いを渡す主婦は、ほぼ半数。渡した人の平均金額は、10.8 万円。
- 今夏、臨時ボーナスをあげたい人 芸能人トップは「AKB48」、第2位は「嵐」、第3位は「スギちゃん」。
- これまでの“夏のオリンピック”を振り返って最大の功労金を払いたい選手は、「北島康介選手」。
- 主婦が詠む夏のボーナス川柳「いつまでも あると思うな ボーナス日」など、思いはさまざま。

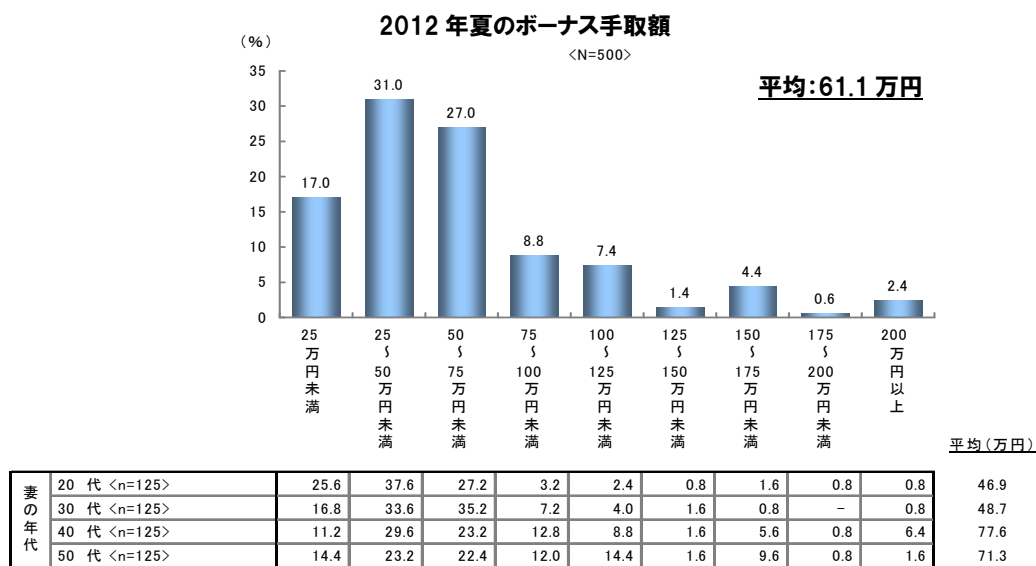
**<家計の現状/わが家の生活防衛策>**

- 家計の現状“苦しい”(59.8%)、今後の見通し“厳しい”(43.0%)と悲観的な見方。
- 1割強の主婦が休眠預金を所有!だが、「面倒なので、そのままにしておく」人が半数。休眠預金の合計金額は、平均「13 万 5,200 円」。
- 主婦のへそくり平均額は、384.3 万円で大幅増加。最高金額は 5,000 万円。その目的は「老後の備え」が第1位(45.9%)。
- 主婦の自分時間は、平均 4.5 時間(休日)。その使い道は、「TVやDVD鑑賞」「昼寝」などが上位。
- 主婦の3人に1人は、「DIY主婦」。DIY主婦の作品は、「日用品」から「アクセサリ類」までさまざま。
- 主婦の約3割が「スマホ主婦」。「料理」「グルメ」「クーポン」「ソーシャルメディアの閲覧・書き込み」などが利用上位に。
- 今年の夏を乗り切るための節電やエコの工夫は、「扇風機(冷風機)の活用」が昨年に続きトップ。

《2012 年夏のボーナス》 ※昨夏は 2011 年夏を指します

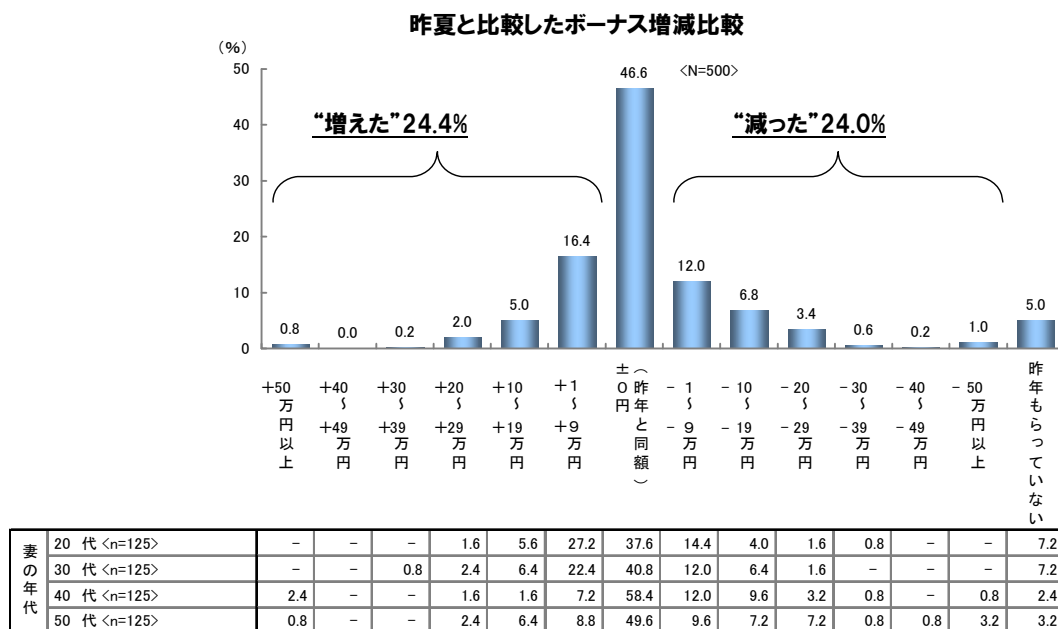
平均手取額は、昨夏から 6.5 万円減の 61.1 万円で調査開始以来最低。

昨夏との増減額は、「±0 円(昨年と同額)」(46.6%)がほぼ半数。“増えた”(24.4%)と“減った”(24.0%)が同程度。



今夏のボーナス手取り額を聞いたところ、「25～50 万円未満」(31.0%)が最も多く、続く「50～75 万円未満」(27.0%)を合わせると、“25～75 万円未満”が6割近く(58.0%)を占めています。以下「25 万円未満」(17.0%)、「75～100 万円未満」(8.8%)、「100～125 万円未満」(7.4%)などが続いています。

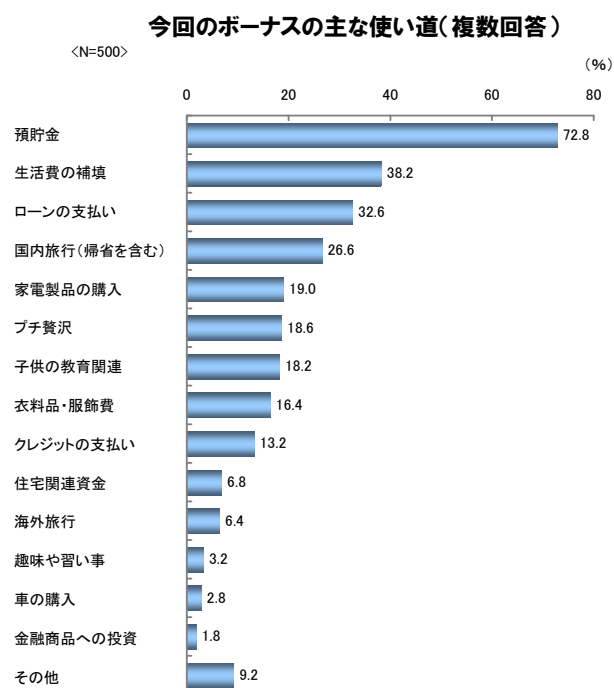
平均手取額は、昨夏より 6.5 万円減り、調査開始以来最低の「61.1 万円」となっています。



昨夏の調査結果と比べると、「昨年と同額」(36.9%→46.6%)は 9.7 ポイント増加し、“増えた”(33.7%→24.4%)、“減った”(25.9%→24.0%)は減少しており、ボーナスの手取額は横ばい傾向にあるようです。

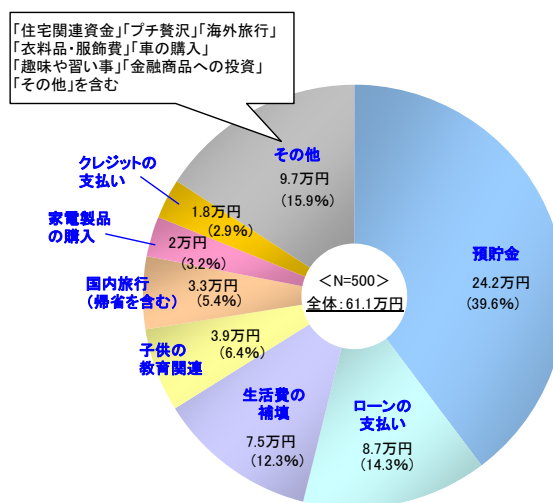
## 《ボーナスの使い道》

「**預貯金(72.8%)**」がトップ。以下「**生活費の補填**」(38.2%)、「**ローンの支払い**」(32.6%)が続く。  
ボーナス総額に占める各用途別金額の内訳は、「**預貯金**」がほぼ4割(39.6%)を占める。



## ボーナスの主な使い道が総額に占める割合

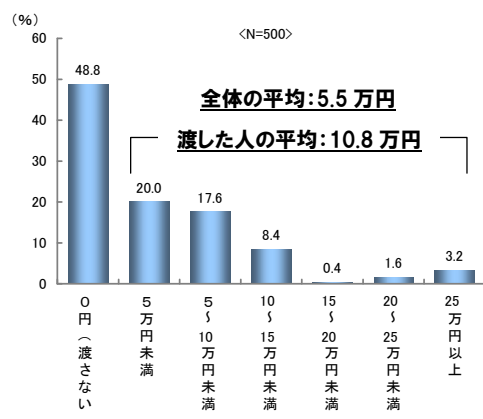
(この夏のボーナス平均手取額 61.1 万円を総額とし、金額に換算)



今回のボーナスの使い道についてみると、「預貯金」(72.8%)が7割強と群を抜いており、次いで「生活費の補填」(38.2%)、「ローンの支払い」(32.6%)が続き、“将来への備え”や“家計のやりくり”に使う人が多くなっています。昨夏の調査結果でも「預貯金」が群を抜いてトップでしたが、今回はその割合が 68.7%→72.8%と、一層増えています。以下「生活費の補填」、「ローンの支払い」が続き、ベスト3は、今夏も昨夏も同様の項目が上位にあげられています。なお、「生活費の補填」(39.2%→38.2%)、「ローンの支払い」(33.0%→32.6%)、「クレジットの支払い」(13.6%→13.2%)は昨夏と同程度の割合を示しています。一方で「国内旅行」(29.7%→26.6%)、「海外旅行」(7.5%→6.4%)、「車の購入」(2.9%→2.8%)、「家電製品の購入」(21.3%→19.0%)、「プチ贅沢」(23.9%→18.6%)など、割合がやや減っている項目が多く、“消費の低迷”を裏付ける結果となっています。

## 《ボーナスの中から夫に渡した小遣いの額》

ボーナスの中から夫に小遣いを渡す主婦は、ほぼ半数(51.2%)。渡した(渡そうと思っている)人では、「5 万円未満」(20.0%)が最も多く、“渡した(渡そうと思っている)”人の平均金額は、「10.8 万円」



今回のボーナスの中から、夫に小遣いとして渡した、あるいは渡そうと思っている金額を聞いてみたところ、「5 万円未満」(20.0%)、「5~10 万円未満」(17.6%)、「10~15 万円未満」(8.4%)など、夫に小遣いとして“渡した、あるいは渡そうと思っている”人が5割強(51.2%)を占めています。平均は、全体でみると「5.5 万円」、「渡した(渡そう思う)”人に限ってみると「10.8 万円」です。

## 《臨時ボーナスをあげたい人とその金額》

芸能界では「AKB48」(29 件)、スポーツ界では「澤穂希」(23 件)、「香川真司」「なでしこジャパン」(各 22 件)が多い。その他の分野では、「自分」(9 件)、「橋下徹」(7 件)など。  
渡してあげたいボーナス金額(平均)は、「イチロー」(2,145 万円)、「橋下徹」(1,693 万円)、「本田圭佑」(1,648 万円)がトップ3。

## 2012 年 前半 臨時ボーナスをあげたいと思う人

芸能界			平均金額 (万円)	最高額 (万円)	スポーツ界			平均金額 (万円)	最高額 (万円)	その他			平均金額 (万円)	最高額 (万円)
順位		件数			順位		件数			順位		件数		
1	AKB48	29	461	10,000	1	澤穂希	23	274	1,000	1	自分	9	134	500
2	嵐	17	612	5,000	2	香川真司	22	882	5,000	2	橋下徹	7	1,693	9,999
3	スギちゃん	14	90	500		なでしこジャパン	22	880	10,000	3	夫	3	52	100
4	芦田愛菜	5	54	100	4	ダルビッシュ有	16	1,025	10,000		野田佳彦	3	383	1,000
	大島優子(AKB48)	5	280	1,000	5	本田圭佑	14	1,648	10,000		東日本大震災の被災者	3	40	100
6	前田敦子(AKB48)	4	353	1,000	6	北島康介	11	441	1,000					
					7	浅田真央	10	81	100					
					8	イチロー	9	2,145	10,000					
					9	女子バレー日本代表	6	97	200					
						松井秀喜	6	609	2,000					

## 総合得票・ボーナス金額(平均) トップ 10

順位		得票数	順位		平均金額 (万円)
1	AKB48	29	1	イチロー	2,145
2	澤穂希	23	2	橋下徹	1,693
3	なでしこジャパン	22	3	本田圭佑	1,648
	香川真司	22	4	ダルビッシュ有	1,025
5	嵐	17	5	香川真司	882
6	ダルビッシュ有	16	6	なでしこジャパン	880
7	スギちゃん	14	7	嵐	612
	本田圭佑	14	8	松井秀喜	609
9	北島康介	11	9	AKB48	461
10	浅田真央	10	10	北島康介	441

＜芸能界＞では「AKB48」(29 件)、「嵐」(17 件)、「スギちゃん」(14 件)がトップ3となっています。また、「AKB48」は「大島優子」(5 件)や「前田敦子」(4 件)などメンバー個人も上位にあげられており、今や“国民的アイドル”として、圧倒的な支持を得ているようです。

＜スポーツ界＞では「澤穂希」(23 件)、「香川真司」「なでしこジャパン」(各 22 件)がトップ3、以下「ダルビッシュ有」(16 件)、「本田圭佑」(14 件)、「北島康介」(11 件)、「浅田真央」(10 件)が続いています。女子サッカーの“なでしこジャパン”の人気は依然根強いようです。

＜その他の分野＞では、トップは「自分」(9 件)があげられ、以下「橋下徹」(7 件)、「夫」「野田佳彦」「東日本大震災の被災者」(各 3 件)が続いています。

## 《昨夏との比較》

昨夏(2011)

今夏(2012)

【芸能界】「AKB48」(41 件) → 「AKB48」(29 件)

【スポーツ界】「石川遼」(73 件) → 「澤穂希」(23 件)

【その他】「枝野幸男」(12 件) → 「自分」(9 件)

※昨夏:1,000 名 今夏:500 名を調査対象人数に設定し、本調査を実施しております。

《これまでの夏のオリンピックで最大の功労金を払いたい選手・チーム》

これまでの“夏のオリンピック”を振り返って最大の功労金を払いたい選手・チームのトップは「北島康介」。2位はシドニー(2000年)の女子マラソン金メダルの「高橋尚子」。

功労金を払いたい選手・チーム

順位		件数	成績
1	北島康介	124	2004/アテネ(100m平:金、200m平:金、リレー:銅) 2008/北京(100m平:金、200m平:金、リレー:銅)
2	高橋尚子	37	2000/シドニー(金)
3	女子ソフトボールチーム／上野由岐子	29	2000/シドニー(銀)、2004/アテネ(銅)、2008/北京(金)
	なでしこジャパン／澤穂希	29	2008/北京(4位入賞)
5	女子バレーボールチーム	13	1964/東京(金)、1968/メキシコシティ(銀)、1972/ミュンヘン(銀) 1976/モントリオール(金)、1984/ロサンゼルス(銅)
6	山下泰裕	12	1984/ロサンゼルス(金)
7	有森裕子	7	1992/バルセロナ(銀)、1996/アトランタ(銅)
	内村航平	7	2008/北京(個人総合:銀、団体:銀)
	谷亮子	7	1992/バルセロナ(銀)、1996/アトランタ(銀)、2000/シドニー(金) 2004/アテネ(金)、2008/北京(銅)
10	岩崎恭子	6	1992/バルセロナ(200m平:金)
	野村忠宏	6	1996/アトランタ(金)、2000/シドニー(金)、2004/アテネ(金)
12	吉田沙保里	5	2004/アテネ(金)、2008/北京(金)
13	野口みずき	4	2004/アテネ(金)

今夏、ロンドンオリンピックが開催されますが、これまでの“夏のオリンピック”を振り返って、ボーナスとも言える最大の功労金を払いたいと思う選手やチームを具体的にあげてもらいました。

その結果、アテネ(2004年)、北京(2008年)の100m、200m平泳ぎで連続金メダルをとった「北島康介」(124件)が、今回のロンドンオリンピックでの3連覇の応援を込めているのでしょう、断然トップとなっています。2位はシドニー(2000年)で女子マラソン金メダルの「高橋尚子」(37件)、3位到北京(2008年)で金メダルの「女子ソフトボールチーム」と、やはり北京(2008年)で4位入賞の「なでしこジャパン」が同数(29件)でランクされています。

# 《主婦が詠むボーナス川柳》

主婦が詠む夏のボーナス川柳「いつまでも あると思うな ボーナス日」など思いは様々。  
内容トップは「家計のやりくりの大変さ」がトップ。

## 主婦が詠むボーナス川柳

【1位:家計のやりくりの大変さ】	【6位:ボーナスが出たことへの感謝】
・ボーナスは 右から左に 消えてゆく	・ボーナスが 家族の絆を 深めます
・ボーナス日 やつと来たのに すぐ仕分け	・ボーナスを もらえる幸せ かみしめて
・ボーナスは もらう前から 使用済み	・ボーナス日 旦那のお土産 イクラかな
【2位:ボーナスの額を見てガッカリした気持ち】	【7位:使い道は旅行や食事】
・ボーナスで ちょっとぜいたく 今昔	・ボーナスで テンション上がり 無駄遣い
・ボーナスと 寸志の区別が わからない	・ボーナスで 家族旅行に 行きたいな
・明細書 増えているのは 年度だけ	・ボーナス日 今年も家族で 焼き肉だ
【3位:ボーナスが出ただけマン】	【8位:今後のボーナスが不安】
・このご時世 もらえるだけで ありがたい	・いつまでも あると思うな ボーナス日
・ボーナスが あるだけましと 言い聞かす	・この次は 出るかどうかと おびえがち
【4位:ボーナスに期待していない】	【9位:使い道は貯蓄が最優先】
・ボーナスに 期待するのは あきらめた	・ボーナスは 老後の資金に 貯蓄せよ
・無いものと思えば額は 気にならず	・ボーナスは そのままずっと 銀行に
【5位:世相を反映】	・出た途端 預金口座へ 移すだけ
・ボーナスと 景気の上昇 期待薄	【10位:夫への感謝の気持ち】
・ボーナスも 野田政権も 下降気味	・ボーナスが 出た日は夫 大事にし
・金額も 電気と一緒に 節電です	・旦那様 いつもお仕事 ありがとう

## 川柳に詠まれた主な内容

順位		件数	参考	
			昨夏の 順位	昨夏の 件数
1	家計のやりくりの大変さ	86	1	155
2	ボーナスの額を見てガッカリした気持ち	38	4	54
3	ボーナスが出ただけマン	37	2	73
4	ボーナスに期待していない	26	-	-
5	世相を反映	20	5	49
6	ボーナスが出たことへの感謝	19	3	55
7	使い道は旅行や食事	18	6	38
8	今後のボーナスが不安	15	9	16
9	使い道は貯蓄が最優先	13	7	31
10	夫への感謝の気持ち	7	7	31

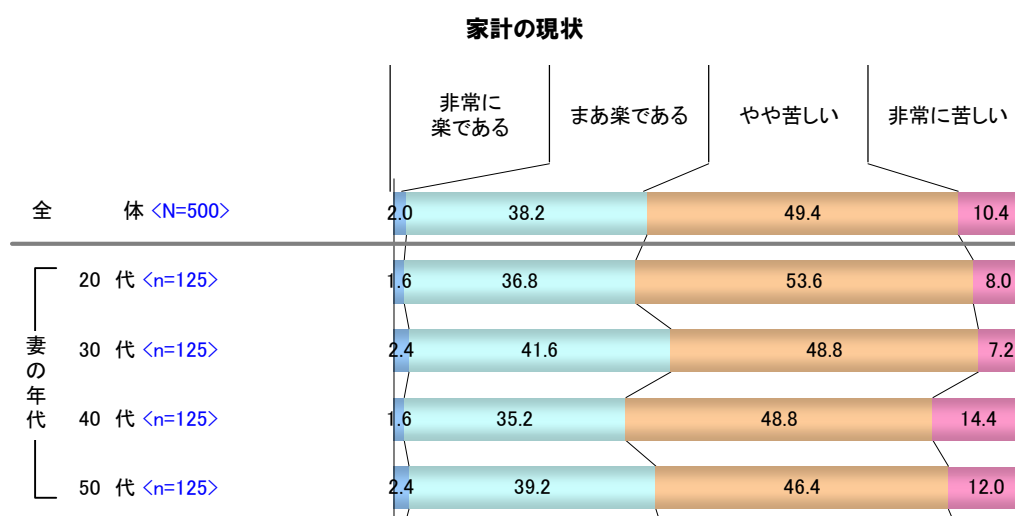
夏のボーナスを受け取った時の気持ちを題材に、「川柳」を作ってもらいました。

ボーナスをもらってもすぐに家計の穴埋めに消えてしまう「家計のやりくりの大変さ」(86 件)を詠んだもの、「ボーナスの額を見てガッカリした気持ち」(38 件)や「ボーナスが出ただけマン」(37 件)と思う気持ちを表現する人が多くなっています。

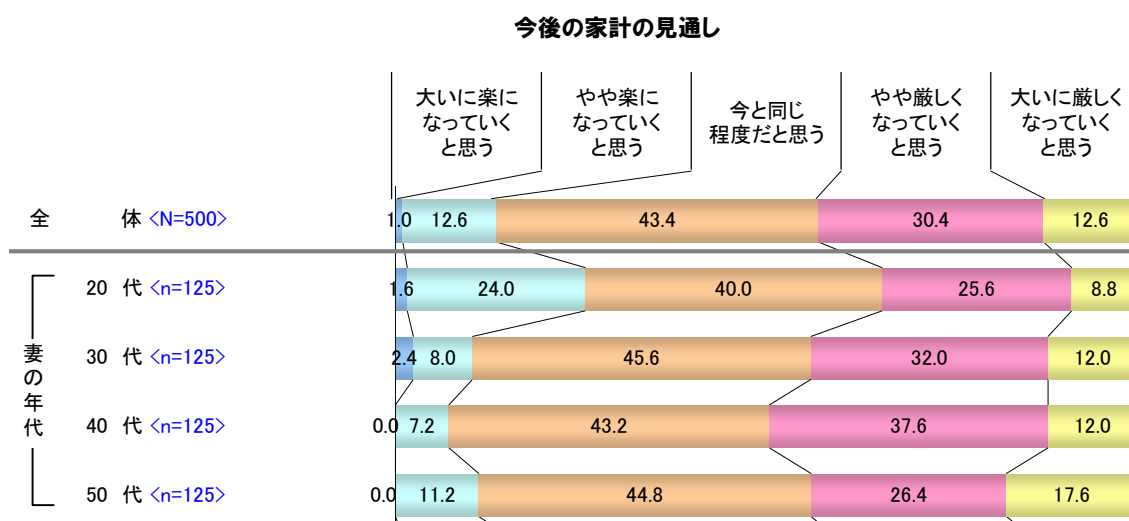
なお、昨夏の川柳と比べると、「家計のやりくりの大変さ」を詠んだものが最も多い点は同じですが、今年は「ボーナスの額を見てガッカリした気持ち」が4位→2位になっています。

## 《家計の現状と今後の見通し》

5人に3人が“苦しい”(59.8%)と、依然として厳しいという認識が強い。“楽である”は4割(40.2%)。今後の見通しは“厳しくなっていく”が4割強(43.0%)を占め、“楽になっていく”(13.6%)は1割台にとどまる。



現在の家計について楽か苦しいかを聞いてみたところ、「非常に楽である」(2.0%)、「まあ楽である」(38.2%)を合わせた“楽である”という人は4割(40.2%)にとどまり、「非常に苦しい」(10.4%)、「やや苦しい」(49.4%)といった“苦しい”(59.8%)という人が過半数を占めています。依然として家計は苦しい状況が続いているようです。



今後の家計の見通しを聞いたところ、“楽になていく(大いに+やや)”(13.6%)と前向きにとらえている人は1割台にとどまり、“厳しくなていく(大いに+やや)”(43.0%)と考えている人が4割強を占めています。また、「今と同じ程度だと思う」(43.4%)という見方は4割強と、今後の家計の見通しについては厳しい見方が多い結果となっています。昨夏の調査結果と比べると、「今と同じ程度だと思う」(34.3%→43.4%)が10ポイント近く増えており、その分“楽になていく”(16.3%→13.6%)や“厳しくなていく”(49.4%→43.0%)がともにやや減少しています。

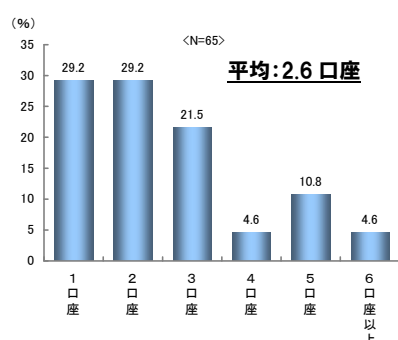
## 《休眠預金の所有状況》

**1割強が、わが家には“休眠預金”が「ある」(13.0%)。**  
**その口座数は、平均「2.6 口座」、休眠預金の平均金額は、「13 万 5200 円」。**  
**“休眠預金”がある人の半数は、「面倒なので、そのままにしておく」(50.8%)。**

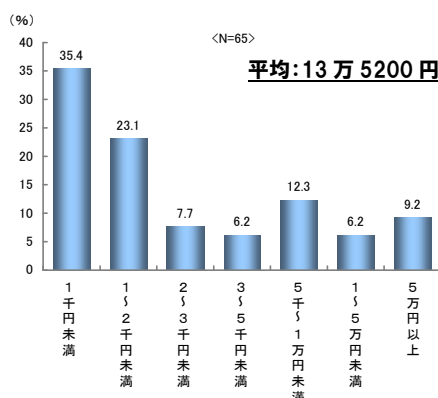
休眠預金の有無

		ある	ない	わからない
全 体 <N=500>		13.0	61.8	25.2
妻の年代	20 代 <n=125>	8.0	71.2	20.8
	30 代 <n=125>	12.8	67.2	20.0
	40 代 <n=125>	18.4	51.2	30.4
	50 代 <n=125>	12.8	57.6	29.6

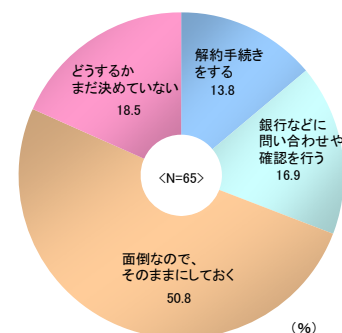
休眠預金の口座数



休眠預金の合計金額



休眠預金の対処方法



10 年以上使われていない「休眠預金」について、政府が有効利用を検討していることが発表され話題になっていますが、実際に“休眠預金”があるか聞いてみたところ、1割強(13.0%)の人が「ある」とこたえています。

“休眠預金”の口座数は、「1口座」「2口座」(各 29.2%)が多く、次いで「3口座」(21.5%)となっており、“1～3口座”が5分の4(80.0%)を占めています。平均は「2.6 口座」です。

次に“休眠預金”の合計金額をみると、「1千円未満」(35.4%)が最も多く、以下「1～2千円未満」(23.1%)、「5千～1万円未満」(12.3%)、「5万円以上」(9.2%)、「2～3千円未満」(7.7%)が続いています。合計金額“3千円未満”が3分の2(66.2%)を占めています。平均は「13 万 5200 円」です。

ちなみに、合計金額の最高は、「400 万円」(2口座合計:1名)、次いで「300 万円」(2口座合計:1名)となっています。

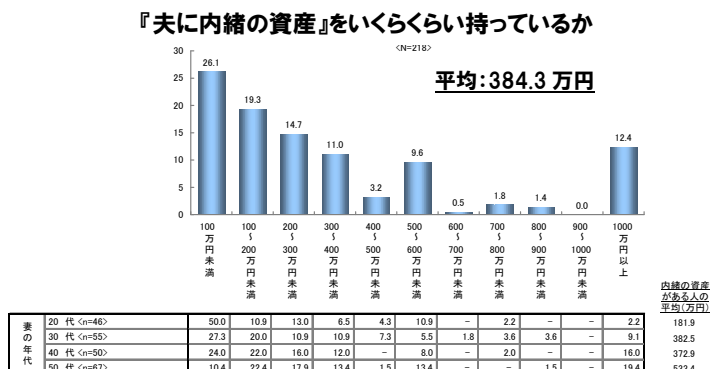
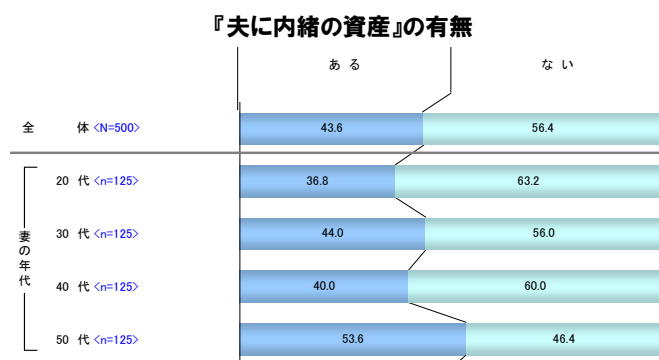
この“休眠預金”をどうしようと思っているか、その対処方法に関して聞いたところ、「解約手続きをする」(13.8%)、あるいは「銀行などに問い合わせや確認を行う」(16.9%)など“何らかのアクションを起こす”という人は3割(30.7%)にとどまり、「面倒なので、そのままにしておく」という人が半数(50.8%)を占めています。



## 《夫に内緒の資産(へそくり)に関して》

**夫に内緒の資産(へそくり)の所持平均額 384.3 万円。所持率は4割強(43.6%)。最高額は、5,000 万円。**

※『夫に内緒の資産』とは、へそくり、結婚前働いていたときに貯めたお金、結婚後自分が働いて貯めたお金、資産運用で得たお金、実家の財産分与など“夫に話していない妻名義の資産”すべてを指します。“意図的に隠している”ものに限られません。

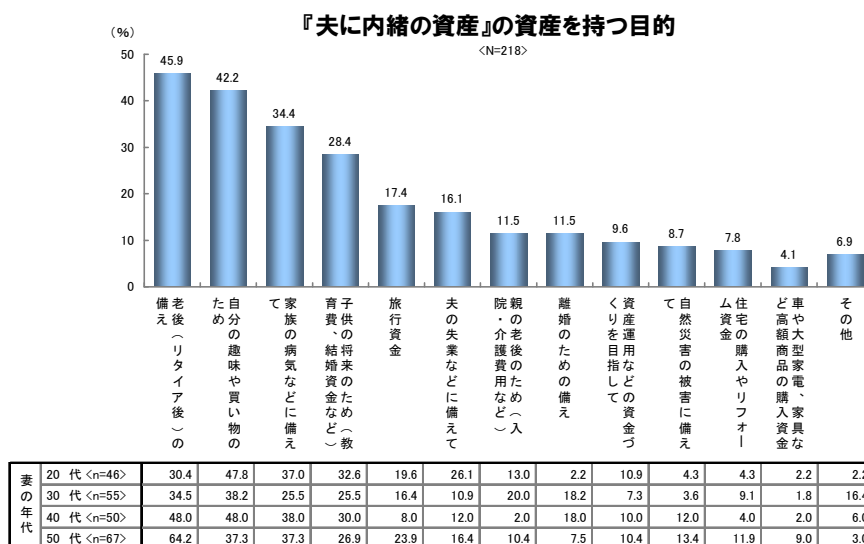


サラリーマン世帯の主婦は、『夫に内緒の資産』をどのくらいの割合の人が持っているのでしょうか。『夫に内緒の資産』があるかについて聞いてみたところ、4 割強(43.6%)が「ある」と回答しています。昨夏の調査結果と比べると、『夫に内緒の資産』を持っている人の割合は、44.7%→43.6%とほぼ横ばいとなっています。

次に、『夫に内緒の資産』を持っている人(218 名)にその金額を聞いてみたところ、「100 万円未満」(26.1%)が最も多く、以下「100～200 万円未満」(19.3%)、「200～300 万円未満」(14.7%)など、少ない金額ほど多くなっていますが「1000 万円以上」(12.4%)という人も1割以上いるのが目立ちます。

資産保有者の平均額は「384.3 万円」です。ちなみに、最高金額は「5000 万円」(1名)でした。

昨夏の調査結果と比べると、平均金額は 336.6 万円→384.3 万円と、約 50 万円アップしています。



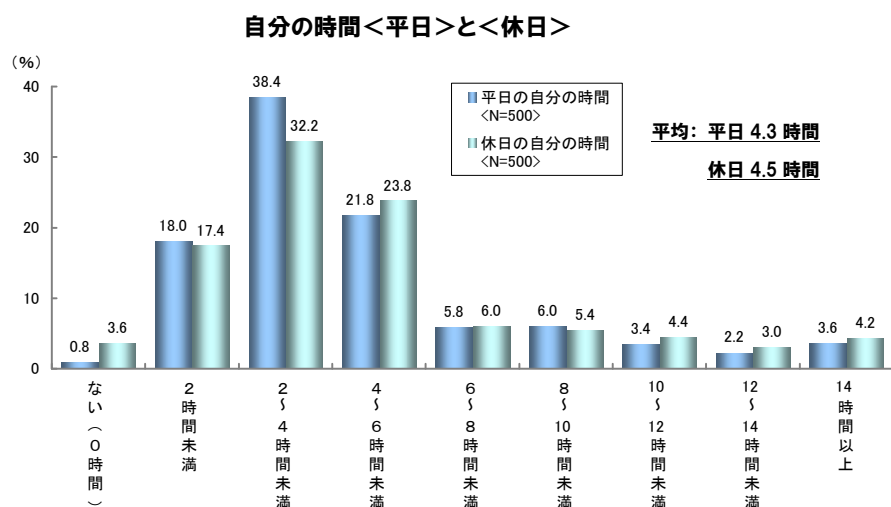
『夫に内緒の資産』をどのようなことに使うために持っているのかを聞いてみたところ、「老後(リタイア後)の備え」(45.9%)が第一で、以下「自分の趣味や買い物のため」(42.2%)、「家族の病気などに備えて」(34.4%)、「子供の将来のため(教育費、結婚資金など)」(28.4%)が続いています。中には「離婚のための備え」をあげる人が1 割強(11.5%)もありました。自分のために使うのはもちろんですが、“将来の備え”のために『夫に内緒の資産』を持っている主婦も多いようです。

## 《主婦の自分時間》

平日の自分の時間は、「4.3 時間」。休日の自分の時間は、「4.5 時間」。

自分の時間がとれた時は、「TV や DVD などを見る」(66.2%)、「昼寝」(44.8%)、「読書」(34.6%)、「雑誌や新聞を読む」(32.6%)などを行っている。

自分の時間を増やすためには、「家事を効率的にこなす・早く済ます」が第一。



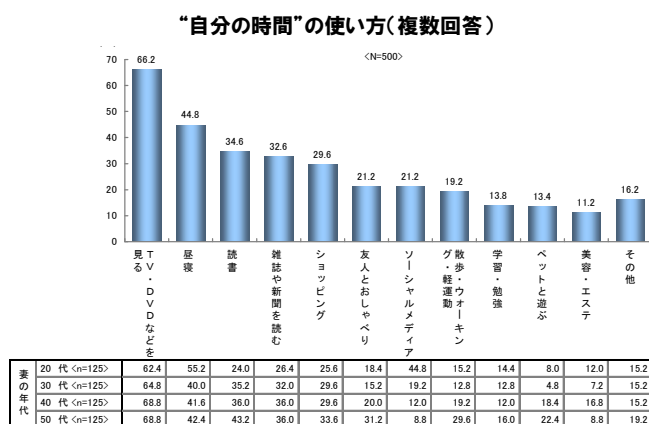
自分の時間＜平日＞と＜休日＞  
＜属性別平均＞ (時間)

		サンプル数	平日	休日
妻の年代	全 体	500	4.3	4.5
	20 代	125	4.2	4.4
	30 代	125	3.4	3.3
	40 代	125	4.4	4.6
	50 代	125	5.5	5.9

＜平日の自分の時間＞をみると、「2～4時間未満」(38.4%)という人が最も多く、以下「4～6時間未満」(21.8%)、「2時間未満」(18.0%)、「8～10 時間未満」(6.0%)となっています。平均は「4.3時間」です。

また、＜休日の自分の時間＞をみると、平日同様「2～4時間未満」(32.2%)が最も多く、以下「4～6時間未満」(23.8%)、「2時間未満」(17.4%)、「6～8時間未満」(6.0%)が続いています。

平均は「4.5時間」で、＜平日＞よりやや長くなっています。



## “自分の時間”を増やすための工夫

順位		件数
1	家事を効率的にこなす・早く済ます	102
2	子供を早く寝かす	36
3	家事を家族と分担する	33
4	一日のスケジュールを決める	31
	料理を簡単に済ます・料理の時短	31
6	早起きする	17
7	早い時間に家事を済ませる	13
	便利家電やグッズを利用する	13
9	家事の手を抜く・時間をかけすぎない	11
10	買い物の時間を短縮する・買いだめする	8
11	合間の時間を大切に使う	6
	自分の仕事の時間を減らす	6

次に、「自分の時間」がとれた時には、主にどのようなことをしているかをみると、「TV・DVDなどを見る」(66.2%)が最も多く、以下「昼寝」(44.8%)、「読書」(34.6%)、「雑誌や新聞を読む」(32.6%)、「ショッピング」(29.6%)、「友人とおしゃべり」「ソーシャルメディア」(各 21.2%)などとなっています。

“自分の時間”を増やすために、どのような工夫をしているか、具体的に聞いてみたところ、「家事を効率的にこなす・早く済ませる」(102 件)という人が断然多くなっています。そのほかでは「子供を早く寝かす」(36 件)、「家事を家族と分担する」(33 件)、「一日のスケジュールを決める」「料理を簡単に済ます・料理の時短」(各 31 件)などがあげられています。いずれにしる“家事の時間を工夫する”のがコツのようです。

## 《DIYをしたこと》

3人に1人強が「ある」(34.8%)。

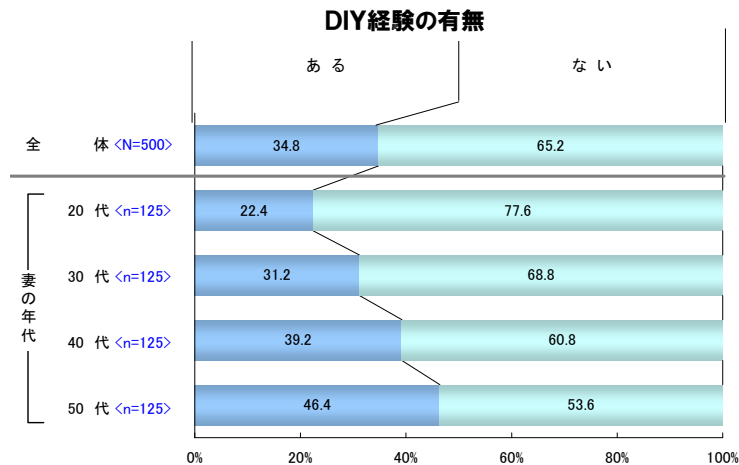
DIY作品は、「日用品・雑貨類(クッション・ゴミ箱など)」(42.5%)、「収納箱・ラック」(39.7%)、「買い物袋・バッグ」(29.9%)、「衣料品」(29.3%)など、多岐にわたっている。

DIYをする最大の理由は、「作ることが楽しいので」(42.0%)が第一。

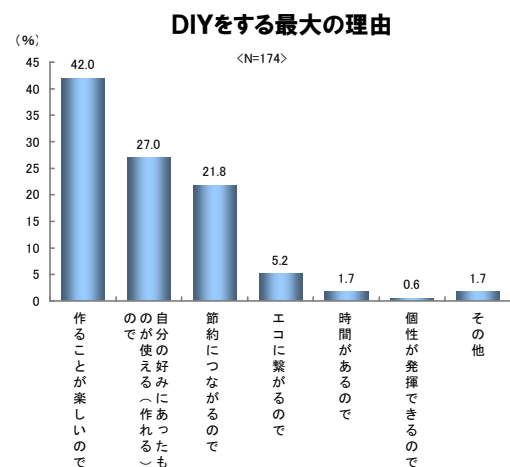
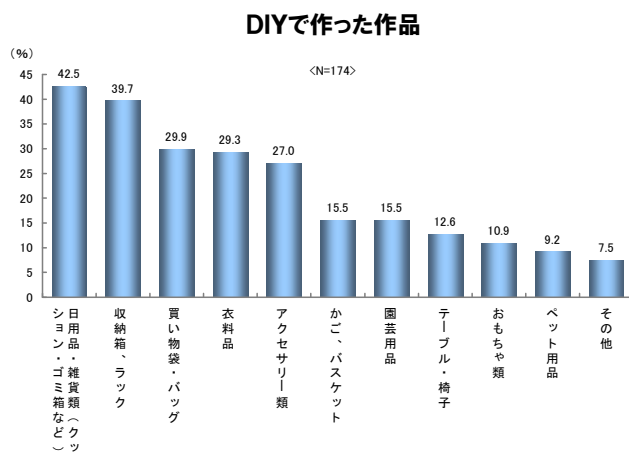
※ここでの『DIY』とは、日曜大工や園芸用品・エコクラフトなど作品を自分で作ること、牛乳パック・ペットボトル・衣料品などの不要品を再利用し新たな用途の作品を作ることなどを意味します。

単なるデコレーション・装飾は含みません。

(例: 椅子・収納箱・買い物袋などを作る、ペットボトルで鉢づくり、古いTシャツを雑巾に利用・・・など)



最近、“DIY女子”という言葉をよく見聞しますが、DIYをしたことが「ある」という人は 34.8%と、3人に1人強の割合です。妻の年代別にみると、年齢が上の人ほど「ある」という割合が高く、《20代》では2割強(22.4%)にとどまっていますが、《50代》(46.4%)では4割以上に達しています。

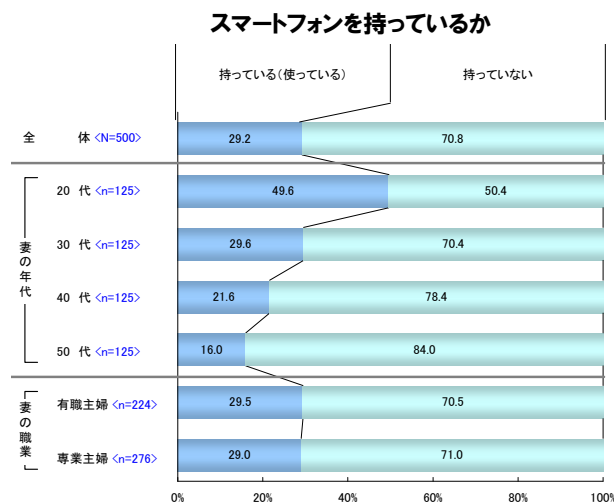


次に、DIYで作った作品をみると、「日用品・雑貨類(クッション・ゴミ箱など)」(42.5%)が最も多く、以下「収納箱・ラック」(39.7%)、「買い物袋・バッグ」(29.9%)、「衣料品」(29.3%)、「アクセサリー類」(27.0%)など、作品は多岐にわたっています。

なぜ、DIYをするのか、その最大の理由をみると、「作ることが楽しいので」(42.0%)が最も多く、次いで「自分の好きなものが使える(作れる)ので」(27.0%)、「節約につながる」(21.8%)となっています。また、少数派ですが「エコに繋がる」(5.2%)という人もいます。

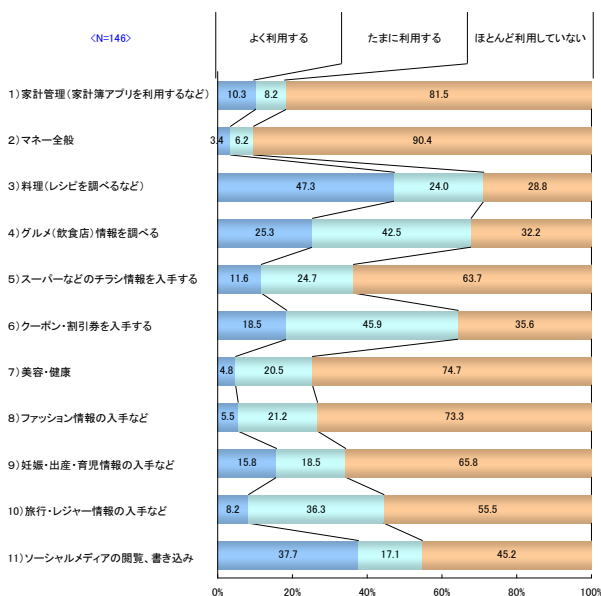
## 《主婦のスマホ利用》

10 人のうち 3 人がスマートフォンを持っている(29.2%)。20 代は約半数がスマホユーザー。  
利用率は、「料理(レシピを調べるなど)」(71.3%)がトップ。以下「グルメ(飲食店)情報を調べる」(67.8%)、「ク  
ーポン・割引券を入手する」(64.4%)、「ソーシャルメディアの閲覧、書き込み」(54.8%)など。



『スマートフォン』を「持っている(使っている)」(29.2%)という人は10人に3人の割合です。妻の職業別にみると、「持っている」割合は《有職主婦》(29.5%)、《専業主婦》(29.0%)と、差はありません。

## スマートフォンの用途別利用状況



## スマートフォンの利用率(よく+たまに利用する)

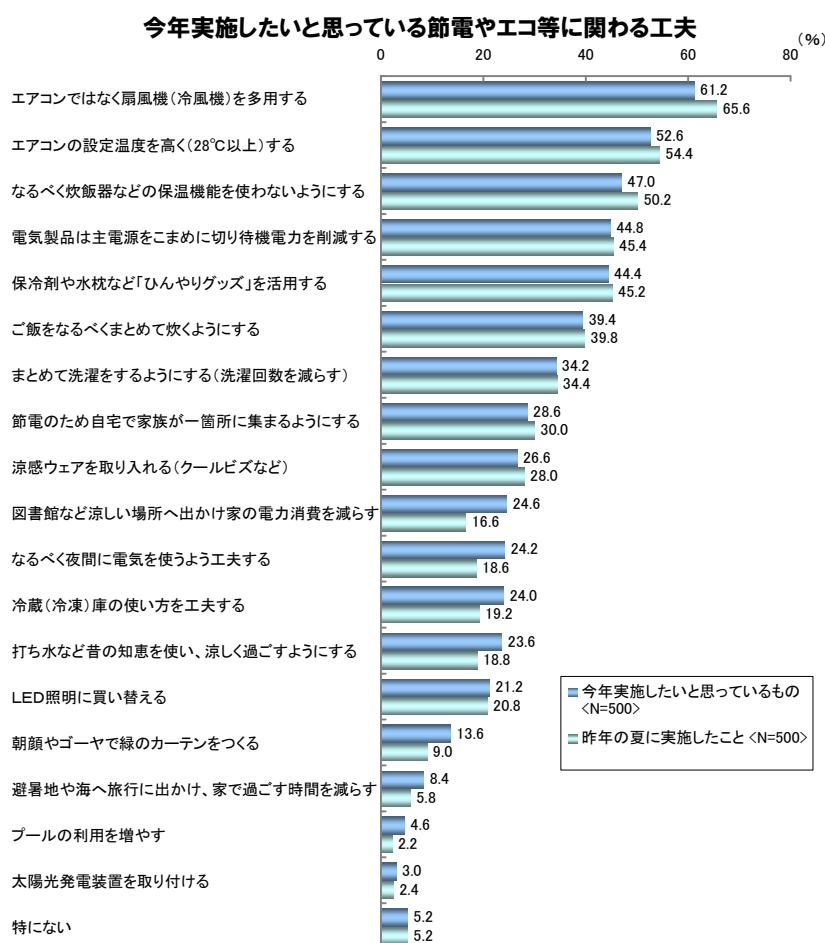
	サンプル数	家計管理(家計簿アプリを利用するなど)	マネー全般	料理(レシピを調べるなど)	グルメ(飲食店)情報を調べる	クーポン・割引券を入手する	美容・健康	ファッション情報の入手など	妊娠・出産・育児情報の入手など	旅行・レジャー情報の入手など	ソーシャルメディアの閲覧、書き込み	非該当
全 体	146	18.5	9.6	71.3	67.8	36.3	64.4	25.3	26.7	34.3	44.5	7.5
妻の年代												
20 代	62	27.4	9.7	82.3	80.6	43.5	69.4	38.7	37.1	61.3	71.0	1.6
30 代	37	18.9	13.5	75.7	67.6	43.2	73.0	16.2	21.6	27.0	45.9	10.8
40 代	27	3.7	7.4	55.6	48.1	25.9	55.6	18.5	22.2	3.7	29.6	48.1
50 代	20	10.0	5.0	50.0	55.0	15.0	45.0	10.0	10.0	5.0	20.0	15.0
職業												
有職主婦	66	19.7	12.1	68.2	66.7	30.3	65.2	25.8	28.8	19.7	40.9	6.1
専業主婦	80	17.5	7.5	73.8	68.8	41.3	63.8	25.0	25.0	46.3	47.5	8.8

「よく利用する」、「たまに利用する」を合わせた利用率をみると、「料理(レシピを調べるなど)」(71.3%)が最も高く、次いで「グルメ(飲食店)情報を調べる」(67.8%)、「クーポン・割引券を入手する」(64.4%)、「ソーシャルメディアの閲覧、書き込み」(54.8%)が続く、この4つの用途は利用者の半数以上が利用しています。以下「旅行・レジャー情報の入手など」(44.5%)、「スーパーなどのチラシ情報を入手する」(36.3%)、「妊娠・出産・育児情報の入手など」(34.3%)などとなっています。

妻の年代別にみると、全般的に若い人ほど高率を示す用途が多く、若い人ほどスマートフォンをいろいろな用途で使っていることがうかがえます。妻の職業別にみると、「料理(レシピを調べるなど)」「スーパーなどのチラシ情報を入手する」「妊娠・出産・育児情報の入手など」「旅行・レジャー情報の入手など」の利用率は、《有職主婦》より《専業主婦》の方が高くなっています。

## 《今年実施したいと思っている節電やエコ等に関わる工夫》

「エアコンではなく扇風機(冷風機)を多用する」(61.2%)、「エアコンの設定温度を高く(28℃以上)する」(52.6%)、「なるべく炊飯器などの保温機能を使わないようにする」(47.0%)がトップ3。昨夏実施した工夫も同じ内容。



計画停電などがあった昨年の夏、節電やエコ等に関わるいろいろな工夫をした家庭も多かったと思います。では、今年はどんな工夫を実施したいと思っているのでしょうか。

「エアコンではなく扇風機(冷風機)を多用する」(61.2%)が最も多く、続く「エアコンの設定温度を高く(28℃以上)する」(52.6%)の2つを半数以上が実施したいと思っています。

次に、＜昨年の夏に実施したこと＞をみると、「エアコンではなく扇風機(冷風機)を多用する」(65.6%)が今夏同様トップ、以下「エアコンの設定温度を高く(28℃以上)する」(54.4%)、「なるべく炊飯器などの保温機能を使わないようにする」(50.2%)などが続いています。

今夏に実施したいと思っているもので、昨夏の実施率を上回っているものは以下の通りです。

- ・「図書館など涼しい場所へ出かけ家の電力消費を減らす」 (16.6%→24.6%) +8.0%
- ・「なるべく夜間に電気を使うよう工夫する」 (18.6%→24.2%) +5.6%
- ・「冷蔵(冷凍)庫の使い方を工夫する」 (19.2%→24.0%) +4.8%
- ・「打ち水など昔の知恵を使い、涼しく過ごすようにする」 (18.8%→23.6%) +4.8%
- ・「朝顔やゴーヤで緑のカーテンをつくる」 (9.0%→13.6%) +4.6%

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『ボーナスと家計の実態調査』過去推移

年 ＜夏＞	夏調査																	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり			夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し			臨時ボーナスを あげたい人 (最多回答)	
	平均 手取り (万円)	増えた	減った	増える	減る+なくな ると思う	変わらない	平均所 持率	持ってい る人の平 均 (万円)	最高 金額 (万円)	渡した人 の平均 (万円)	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度		
2003	67.1	23.4%	53.0%														主人	23票
2004	65.8	38.4%	27.6%	30.4%	32.6%	28.0%				4.0	17.6%						自分自身	68票
2005	76.2	43.2%	20.4%				43.6%	230.2	2,000 (3名)			46.4%	53.6%				サッカー日本代表	96票
2006	77.8	49.8%	17.4%				55.2%	313.2	3,000			45.8%	54.2%				荒川静香	68票
2007	77.9	49.2%	20.2%				45.2%	267.9	3,000	7.3	23.6%	49.2%	50.8%	19.8%	45.6%	34.6%	石川遼	58票
2008	75.3	37.0%	26.0%	30.8%	32.6%	36.6%	41.0%	356.3	4,000	12.3	41.6%	45.4%	54.6%	15.2%	46.4%	38.4%	エド・はるみ	38票
2009	65.5	20.6%	53.6%	25.6%	40.8%	33.6%	34.8%	337.2	4,000	9.8	48.0%	38.4%	61.6%	12.2%	50.0%	37.8%	イチロー	107票
2010	67.0	40.8%	28.4%	37.0%	29.8%	33.2%	45.0%	364.5	5,000	8.6	48.6%	44.2%	55.8%	15.6%	40.8%	43.6%	嵐	45票
2011	67.6	33.7%	25.9%	31.3%	31.5%	37.2%	44.7%	336.6	5,500	10.6	48.0%	42.9%	57.1%	16.3%	49.4%	34.3%	石川遼	73票
2012	61.1	24.4%	24.0%	26.2%	35.4%	38.4%	43.6%	384.3	5,000	10.8	48.8%	40.2%	59.8%	13.6%	43.0%	43.4%	AKB48	29票

注①：03年冬のみ、夫の小遣いは「ボーナスの中で、自由に使える夫の小遣い」、その他の年は「ボーナスの中から夫に渡した小遣い」

注②：2011年のみ調査対象人数は1,000人

年	夏調査											
	主な使い道											
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位		金額 換算
2003	生活費の補填	51.2%		預貯金など貯蓄	47.0%		ローン・クレジットの支払い	41.2%		国内旅行	28.8%	
2004	預貯金など貯蓄	56.2%		ローン・クレジットの支払い	38.6%		生活費の補填	37.8%		国内旅行	22.0%	
2005	預貯金など貯蓄	53.6%		ローン・クレジットの支払い	37.0%		生活費の補填	31.4%		国内旅行	29.6%	
2006	預貯金など貯蓄	55.2%		ローン・クレジットの支払い	35.8%		生活費の補填	33.4%		国内旅行・帰省	28.0%	
2007	預貯金など貯蓄	58.6%		ローン・クレジットの支払い	37.8%		生活費の補填	33.0%		国内旅行・帰省	30.4%	
2008	預貯金など貯蓄	55.8%		生活費の補填	36.4%		ローン・クレジットの支払い	33.2%		子供の教育関連	25.0%	
2009	預貯金など貯蓄	51.6%		生活費の補填	35.4%		ローン・クレジットの支払い	31.2%		国内旅行・帰省	22.2%	
2010	預貯金など貯蓄	74.2%	26.7万円	生活費の補填	39.6%	7.5万円	ローンの支払い	37.6%	11.2万円	プチ贅沢	28.4%	2.3万円
2011	預貯金など貯蓄	68.7%	24.2万円	生活費の補填	39.2%	7.8万円	ローンの支払い	33.0%	9.6万円	国内旅行・帰省	29.7%	4.1万円
2012	預貯金など貯蓄	72.8%	24.2万円	生活費の補填	38.2%	7.5万円	ローンの支払い	32.6%	8.7万円	国内旅行・帰省	26.6%	3.3万円

注③：主な使い道に関する質問は10年夏より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

DIY生命の「4つの約束」

わたしたち損保ジャパンDIY生命は1999年の創業以来、「1年組み立て保険」という独自の商品販売を通じて、“自分の保険は、自分でつくる”、“生命保険は、ライフステージの変化に合わせて見直す”、“生命保険で、貯蓄はしない”というメッセージを発信し続けています。これらは、お客さまに「真にムダのない、合理的な保険をご提供する」というメッセージであり、次に掲げる当社の「4つの約束」に基づいています。

- ◆お客さまにぴったりあった商品の提供
- ◆お客さま自らの判断でご加入いただくこと
- ◆迅速なサービスの提供
- ◆お客さまとの継続的な関係の構築

わたしたちは、損保ジャングループの「ダイレクト販売専門生命保険会社」として、また「常に先進的な取り組みを目指す会社」として、これからも「4つの約束」のもと、質の高いサービスと安心を提供してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社  
経営企画部 広報グループ：植松、高月 TEL:03-5437-9026